

中学校名	市	主な入試の変更点と予測
大妻多摩	多摩市	2月2日午前にプレゼンテーション入試(2教科とプレゼン)、4日の3回は4科の他に教科総合型も選択できるようにするなど、急速にグローバル化対応、21世紀型対応に動いている。受験生がこの動きについて行けていないようで、敬遠ムードも見られる。模試では、1日の午後入試は希望者がやや増えているものの、他の回次は少し減少傾向。学校としては、合格者が少し減るようなことがあっても難度は維持して、新タイプの入試のレベルアップを図っていくと思われる。
駒沢学園女子	稲城市	2月6日の入試を4日に前倒しするなどの変更があるが、各回とも2016年入試並みの難度だと思われる。
吉祥女子	武蔵野市	入試の変更点はなし。模試では、1日の1回は希望者がやや減少、2・3回は減っている。減っているのは、2回では中堅の学力層が中心、1回と3回では比較的上位の学力層が中心。1回はやや入りやすくなるかもしれない。2回は応募者が減っても入りやすくなるはならないと思われる。3回は、1・2回の不合格者が再挑戦するので、応募者はあまり減らず、難度は変わらないと思われる。
藤村女子	武蔵野市	適性検査型入試を増設。人気に特に変化はなく、2016年入試並みの難度になるとと思われる。
晃華学園	調布市	入試の変更点はなし。模試では、2月1日の1回の希望者が少し減っていて、3日の2回は比較的上位の学力層の希望者がやや減少、中堅の学力層は少し増えている。1回は少し入りやすくなるかもしれない。2回は1回の不合格者が再挑戦するので、難度に変化はなさそう。
桐朋女子	調布市	論理的思考力・発想力入試を2月2日午前に新設。2日午後の4科入試を3日午前に移動。模試によって動向に違いはあるが、4科型の入試は午後入試から午前入試に変わることもあり、希望者は少し減っている。1日と2日は難度を示しにくいですが、3日は午前入試になるので、少し入りやすくなるかもしれない。
武蔵野女子学院	西東京市	入試の変更点はなし。模試によって希望者の動向に違いが見られるが、増減があっても難度に影響するほどではなく、選抜・総合の両コース各回とも2016年入試並みの難度だと思われる。
文華女子	西東京市	2017年から募集を停止。
共立女子第二	八王子市	変更は定員配分のみ。模試では各回次とも希望者がやや減っている。少し入りやすくなるかもしれない。
東京純心女子	八王子市	2月2日午前に適性検査型入試を増設、2日午前の特待入試を午後に移動、4日の入試は2科から思考表現とプレゼンのタレント発見発掘入試とするなどの変更がある。模試では希望者がやや減っていて、少し入りやすくなるかもしれない。
白梅学園清修	小平市	人気に特に変化はなく、2016年入試並みの難度になるとと思われる。
桜華女学院	東村山市	人気に特に変化はなく、2016年入試並みの難度になるとと思われる。